

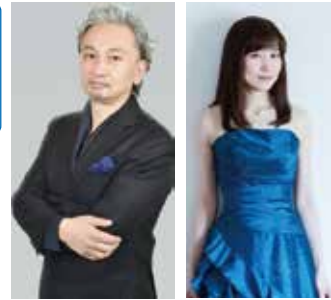
「知れば知るほど楽しい音楽講座～珠玉のドイツ歌曲とピアノ作品を巡って～」一般受講生募集

まほろば市民大学では、各方面から講師を招き、「教養講座」を開講しています。通常は受講生のみが対象ですが、本年度は一般の受講生を募集します。

今回のテーマは「音楽・文学」です。ドイツ歌曲を中心に演奏やトークを交えて、作曲家や時代背景などを見て聴いて楽しく学びます。クラシックはよく分からない、音楽にはなじみがない人も気軽に参加できます。

開催日時 11月16日(木)午前10時～11時30分
開催場所 プラム・カルコア太宰府(中央公民館)市民ホール
講師 原尚志さん(福岡教育大学教授/東京二期会会員)
篠原友里さん(福岡教育大学講師)

曲名紹介
♪白鳥の歌より「セレナーデ」
♪冬の旅より「菩提樹」
♪献呈(ピアノソノ)ほか



原尚志(バリトン) 篠原友里(ピアノ)

受講料 500円 注意 コンサートではありません。
定員 100人程度 市民ホールを利用した「教養講座」です。
申込期間 10月2日(月)午後1時から定員になり次第締切
申込方法 ホームページの申込フォーム、電話または窓口で氏名・連絡先を伝えてください。



申込フォーム▶

太宰府市公文書館パネル展を開催します

問い合わせ 文書情報課 公文書館(☎921)2322
ページID:29979

太宰府市公文書館は来年で開館10周年を迎えます。そのイベントとして、パネル展「“まち”の記憶、“まち”の記録—公文書館資料展—」を開催します。

これまで公文書館で調査・整理を行ってきた地域資料のなかから、職員が選んだとおきの資料を解説とともにわかりやすく紹介します。



開催日時 すべて開庁時間
①10月3日(火)～11月30日(木) ②12月2日(土)～24日(日)
③令和6年1月10日(水)～26日(金) ④1月30日(火)～3月29日(金)

開催場所
①④上下水道事業センター 1階ビジターフロア
②太宰府館2階ギャラリー ③市役所1階市民ギャラリー
※パネル展や展示見学会などのお知らせは公文書館ホームページに随時掲載します。

てんまんぐうあんらくじ ちくごのくにみずたのしよう
天満宮安楽寺と筑後国水田荘

中世の太宰府天満宮は、天満宮安楽寺と呼ばれていました。天満宮安楽寺は一般的な大寺社と同じく、荘園領主としての性格を持っていました。安楽寺領の荘園は、太宰府が位置する筑前国に限らず、北部九州一帯に点在していました。



～公文書館だより①④～

14世紀末、大鳥居氏の祖である大鳥居信高が亡くなって以降、信高の息子たちの間で、継承者の地位をめぐる対立が起こっていたことを、徳永健太郎氏が明らかにしています。最終的に、信高の孫である亀松丸(後の信榮)が水田荘南嶋村などの信高遺領を相続しますが、亀松丸を支援したのは、当時の室町幕府九州探題・今川了俊でした。徳永氏の研究によると、了俊は、安楽寺を統括していた京都の菅原氏を協力させる形で、他の社家を排除して亀松丸を支援し、安楽寺への介入を強めたよう

うです。その過程で、康暦2(1380)年秋ごろに、了俊が菅原氏に対して、亀松丸が水田荘南嶋村の管理権を剥奪されたことを抗議したとみられる書状が残されています。この中で、水田荘の領有が問題になったこと自体が、大鳥居氏にとっての水田荘の重要性をうかがわせます。これ以降、水田荘と安楽寺をめぐる情勢に、武家権力が徐々に介入を強めていくのです。

ところで大鳥居氏は、留守職をめぐり、大鳥居氏内部や、小鳥居氏などの他の社家と対立を繰り返していました。水田荘は、こうした対立の中で頻繁に登場します。

太宰府市公文書館 児玉良平

【バックナンバーはこちら】ページID7241